



年頭のごあいさつ

「地域の全産業を回復・成長の年に」

加古川商工会議所

会頭 釜谷 和明

令和6年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス禍による低迷期からの脱却と継続的な成長を目指した令和5年でしたが、V字回復とはいかず、業種間で回復度合いにバラつきが生じています。本年こそは、全業種での業績回復が期待されるところです。

しかしながら、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻とその経済制裁の影響が全世界に波及し、エネルギー資源や穀物等の供給停滞が光熱費・食料品・原材料価格の高騰へとつながり、企業経営や市民生活に大打撃を与えています。さらに、中東でも戦闘が勃発、国際情勢は非常に先行き不透明な状況となっています。

日本経済は、この厳しい状況下で、さらに急激な円安進行と物価高、賃上げ対応、カーボンニュートラルの取組みなど様々な経営課題が山積し、企業は近年まれに見る経営上の難局に直面しています。政府による緊急的な経営支援策が求められるほか、支援機関として商工会議所の果たすべき役割も益々重要となっています。

当地域では現在、東播磨道の北工区、国道2号加古川橋架替などインフラ整備工事が着々と進み、播磨臨海地域道路は都市計画決定に向け詳細ルート案が発表されるなど、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網が実現されることとなっています。また、2025年開催の大阪・関西万博は、人やモノ、情報が関西に集まる絶好の機会でもあり、当地への好影響も期待されます。

当所では、当商工ビル1階に移転した（一社）加古川観光協会と連携を図り、地域企業の売上アップにつながる「ふるさと納税返礼品への登録」を推進しています。これまで返礼品は“モノ”中心でしたが、今後は飲食やサービスなど“コト”にも対象を拡げ、市内全業種の企業に売上増へ繋げて頂きたいと考えております。

コロナ禍以来、経営相談で来所される事業主の皆様が急増しており、支援機関としての商工会議所への期待が高まっていることを実感しています。ニーズに合った各種施策の実施や相談支援事業を推進するとともに、関係機関とも連携を図り、各種公的支援策の活用や情報提供、中小企業のポストコロナ時代及び原材料価格の高騰対策に向けた経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に応じ、会員の皆様に寄り添う伴走型の支援を行う「無くてはならない窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行いたいと考えております。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸、本年が皆様にとって「成長の年」となりますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。